

NOSAI ながいの

安心のネットワーク
NOSAI長野

創刊号

2017.07

NOSAIが
生まれ変わりました。

備えの種をまこう。

CONTENTS

- ② 組合長理事あいさつ
- ③ 長野県知事あいさつ
- ④ 新役員紹介
- ⑥ 第1回通常総代会開催
- ⑧ 平成29年度組合基本方針
- ⑩ 組織体制
- ⑫ お知らせ
- ⑭ これからのNOSAIに期待すること
- ⑯ 新任職員の紹介

第1回通常総代会開催 —すべての議案、可決承認—

新組合長あいさつ



組合長理事
羽田 健一郎

組合員の皆さまには、日頃より農業・共済事業の運営に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。本組合は4月1日に、県下全域を1組合とする長野県農業共済組合（NOSA―長野）として発足しました。新組合の設立にあたり、組合員の皆さまのご理解と関係各位のご支援・ご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

私たちNOSA―は、昭和22年の制度施行以来、共済金の支払い等を通じて農家経営の安定に寄与してまいりました。本年が制度発足70年の節目にあたるとともに、平成31年度から収入保険制度の導入及びNOSA―制度の大幅な見直しという、制度始まって以来最大の変革期を迎えます。

こうした情勢のもと、よりNOSA―

―制度の機能を十分に発揮するとともに、収入保険制度導入と制度見直しに向けて、制度70周年のキャッチフレーズ「備えの種をまこう」をモットーに、活動を強化してまいります。

近年、大型台風、集中豪雨、大地震等、毎年のように全国各地で大きな自然災害が発生しております。そのような中、引き続きNOSA―制度を推進するとともに、収入保険制度開始時には、農家が個々の経営実態に見合った制度を選択して、経済的損失が補てんされるよう取り組んでまいります。

今後も、役職員一同、組合員の皆さまとの接点強化を図り、皆さまから信頼される「長野県農業共済組合」を目指してまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新組合の発足に寄せて



長野県知事
阿部 守一

このたび、県内の農業共済団体の合併により、「長野県農業共済組合」が設立されましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、新組合設立に至るまでの間の関係者の皆様方のご尽力に対して、深く敬意を表します。

農業共済制度は、農業災害補償法に基づく公的保険制度として、昭和22年の制度発足以来70年余にわたり、農業経営の安定に大きな役割を果たしてきました。

ことに近年は、台風や豪雨等による甚大な被害が発生しているほか、局地的に大きな被害をもたらす突風などが発生する頻度も高くなっており、農業共済制度が、農業経営のセーフティネットとして果たす役割は、益々重要になっております。

このような状況の中で、県全域を一つの区域とする「1県1組合」の設立

は、合併によるスケールメリットを活かし、運営基盤の強化による安定した事業運営が図られるとともに、質の高いサービスが全県統一的に提供されることにより、長野県農業の持続的な発展に寄与いただけるものと期待しております。

本県では、「長野県総合5か年計画」及び「長野県食と農業農村振興計画」を今年度策定いたします。農業・農村を取り巻く情勢が大きく変わる中で、計画の策定にあたっては、組合及び組合員の皆様から忌憚（きたん）のないご意見・ご提言をいただきたいと考えております。

結びにあたり、長野県農業共済組合が、地域とともに益々発展することをご期待するとともに、組合員の皆様の信頼に応え、農業経営の安定と発展に貢献できる組織として、大きく飛躍されることをご祈念申し上げます。

新役員紹介

本年4月1日、長野県内4つの農業共済組合が合併し、長野県農業共済組合（NOSAI長野）が発足しました。補償の充実、損害防止活動など、組合員の皆さまが安心して農業に取り組めますよう、一層の農家支援事業の強化に努めてまいります。

※任期：平成29年7月1日～平成32年6月30日

理事
おた きよはる
太田 清晴
松本市
中信

理事
なかた としふみ
仲田 俊史
飯田市
南信

理事
こいけ まさみつ
小池 正充
平谷村
南信

理事
なかじま かんじ
中島 完二
安曇野市
中信

理事
かざはら へいき
笠原 兵紀
塩尻市
中信

理事
きぶね ゆたか
貴舟 豊
大桑村
中信

副組合長理事
しろとり たかし
白鳥 孝
伊那市
南信

副組合長理事
おぐち としゆき
小口 利幸
塩尻市
中信

組合長理事
はた けんいちろう
羽田 健一郎
長和町
東信

理事
まつなが しんいち
松永 晋一
飯山市
北信

理事
なかむら まもる
中村 靖
長野市
北信

理事
しもかわ まさたけ
下川 正剛
白馬村
中信

理事
ささき まさる
佐々木 勝
佐久穂町
東信

常務理事
いのうえ ひろゆき
井上 弘之
学識経験者

副組合長理事
いけだ しげる
池田 茂
中野市
北信



理事
やまうら さだお
山浦 貞雄
飯綱町
北信

理事
にしはら たきお
西原 瀧雄
高山村
北信

理事
さかした たかゆき
坂下 隆行
上田市
東信

理事
やまむら ひろし
山村 弘
坂城町
東信

理事
もてき ゆうじ
茂木 祐司
御代田町
東信

監事
ふくざわ としひこ
福澤 利彦
駒ヶ根市
南信

監事
ないとう つとむ
内藤 勤
上田市
東信

代表監事
こし よしひろ
越 吉廣
須坂市
北信

理事
かたざり たかあき
片桐 孝明
飯島町
南信

理事
みやさか ふさお
宮坂 房雄
原村
南信

理事
やなぎだいら ちよか
柳平 千代一
茅野市
南信



可決・承認された議案のご報告

- 第1号議案 平成28年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案及び不足金処理案について
- 第2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算案について
- 第3号議案 平成29年度事務費の賦課及び徴収方法について
- 第4号議案 役員、損害評価会委員、損害評価員及びNOSAI部長報酬について
- 第5号議案 役員退任慰労金について
- 第6号議案 無事戻金の支払いについて
- 第7号議案 余裕金預け先金融機関について
- 第8号議案 借入金最高限度額及び借入条件について
- 第9号議案 理事、監事の選任について
- 第10号議案 損害評価会委員の選任について
- 第11号議案 家畜診療所運営委員の選任について
- 第12号議案 建物共済連合会等事業責任安定化対策に係る契約(附属書)の一部変更について
付帯決議

無事戻金		
共済目的	戸数(戸)	金額(円)
麦	162	5,798,707
りんご	2,646	18,827,793
ぶどう	496	2,300,728
なし	516	4,454,912
もも	295	1,065,809
ばれいしょ・大豆	55	312,854
蚕繭	10	29,370
合計	4,180	32,790,173

本年6月の「収入保険制度導入と農業災害補償制度の見直し」に係る法律改正により、平成33年度に無事戻し制度が廃止されます。また、廃止までの間、組合員だけでなく国への支払い義務も生じることから、共済金支払財源となる積立金の一層充実を図るため、当組合においては、平成30年度から全事業について無事戻しを中止します。被害の少ない加入者の皆さんには、危険段階別共済掛金率の適応により対応していきますので、ご理解をお願いします。

なお、今年度の支払いは左記のとおりです。

無事戻金の支払いについて



第1回通常総代会開催

— すべての議案、可決承認 —



全国農業共済協会長
たかはし ひろし
高橋 博氏



長野県副知事
なかじま えり
中島 恵理氏



組合長理事
はた けんいちろう
羽田 健一郎



議長
なるさわ けんじ
成澤 健司総代

平成29年6月21日、安曇野市「安曇野スイス村サンモリッツ」で第1回通常総代会を開催しました。

総代総数199人中、本人出席135人、書面出席60人、合計195人の出席を得て開催しました。

議長には佐久市の成澤健司総代が選任され、提出した12議案及び付帯決議について慎重審議していただき、すべて原案どおり可決、承認されました。

役員互選会開催

総代会終了後、同会場において役員互選会を開催し、組合長に羽田健一郎(長和町)、副組合長に小口利幸(塩尻市)、白鳥孝(伊那市)、池田茂(中野市)、常務理事に井上弘之(学識経験者)、代表監事に越吉廣(須坂市)が選任されました。

任期は平成29年7月1日から平成32年6月30日まで。

平成29年度組合基本方針

農業・農村は、農家の高齢化や集落の人口減少、大規模農家等と小規模農家の二極化が進み、農地集積、6次産業化などの政策が展開されている中、厳しい状況に晒されています。

また、平成30年には国による米の生産数量目標配分の廃止、平成31年産からの収入保険制度の導入及び農業共済制度の見直しが予定されており、変動の時期を迎えます。

一方、農業災害は、雹害、凍霜害、豪雪、大型台風の襲来及び地震災害などが頻発しており、農家のセーフティネットとしてのNOSAの役割はより増しています。

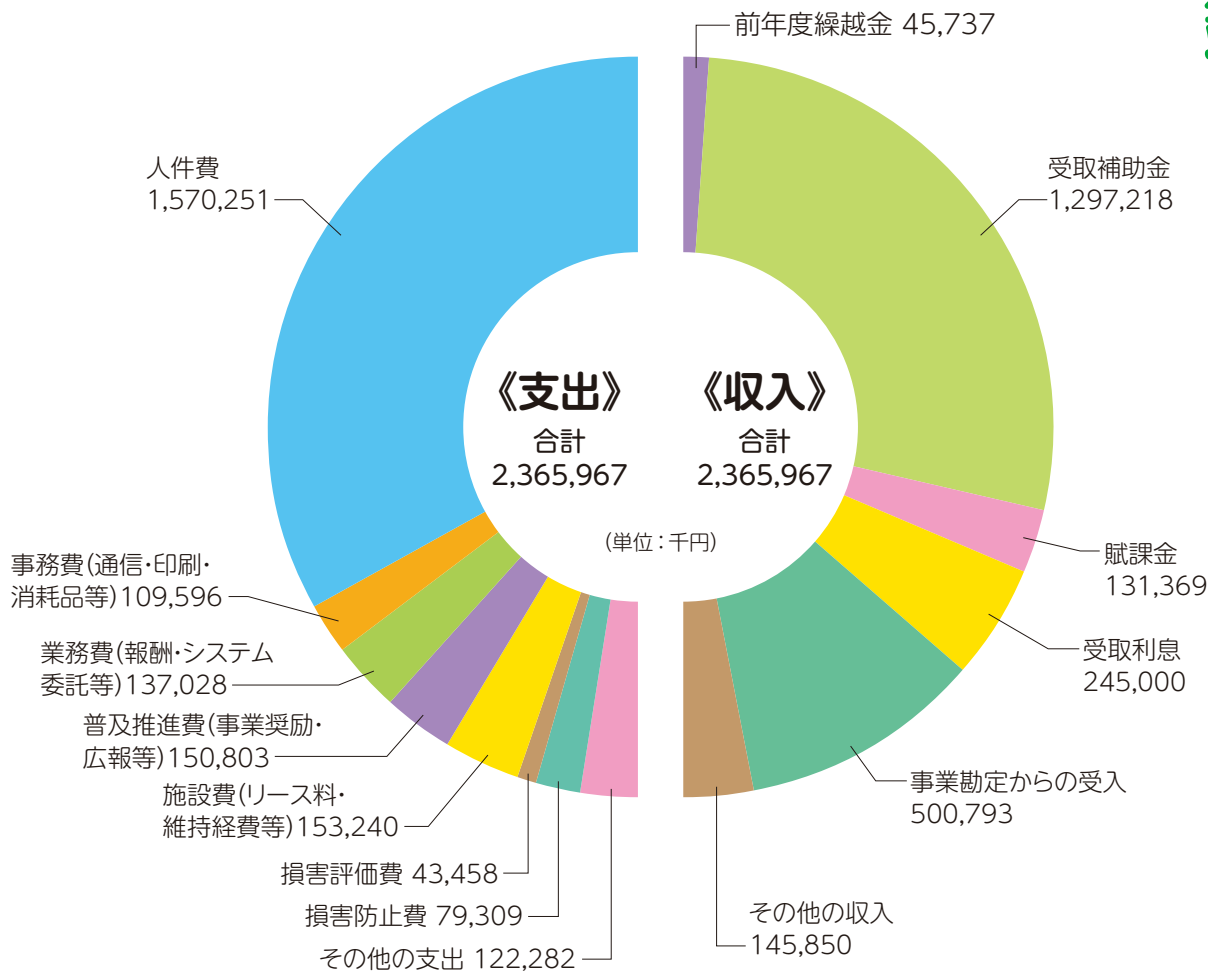
このような状況を踏まえ、当組合では、農業構造の変化への対応、収入保険制度の導入及び農業共済制度の見直しなどに組織を挙げて取り組む体制づくりとして、県内約12万戸の組合員の負託に応えるため均質なサービスの提供と補償の充実に努めます。

事業の推進にあたっては、全国運動「信頼のきずな」未来につなげる運動と連携し、「つらなるフィールド活動へ」を行動スローガンに事業推進を展開します。また、果樹共済を中心とした加入率の引き上げに努めます。

収入保険制度については、人材育成と加入推進に備えた地盤づくりを、農業共済制度の見直しについては、改正内容の迅速かつ的確な普及に取り組みます。

さらに、業務運営の合理化・効率化と業務の改善を行うとともに、コンプライアンス態勢をより強化し、地域及び農家から信頼される新たな組織として一層農家の経営安定を図ることを基本方針とし、全力で取り組んでまいります。

平成29年度 業務収支予算



平成29年度 事業計画(引受規模と補償額)

総共済金額(補償額)は、1兆5,550億円

1. 農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済事業の規模

共 済 目 的 等				引 受 本年度予定	共済金額 (千円)
農作物	水稲	一 筆		2,866,824a	23,152,698
				136,109,410kg	
		全 相 殺		19,506a	192,691
				1,078,629kg	
		小 計		2,886,330a	23,345,389
				137,188,039kg	
	麦	一 筆		100,497a	264,041
				2,772,034kg	
		全 相 殺		33,945a	62,651
				1,053,561kg	
		災害収入		120,383a	451,960
				—	
	小 計			254,825a	778,652
				—	
	合 計			3,141,155a	24,124,041
家 畜	成 乳 牛			13,422頭	2,123,616
	育 成 乳 牛			1,520頭	121,847
	乳用子牛等			7,216頭	273,765
		(胎児)		6,770頭	239,746
	肥育用成牛			9,676頭	1,400,909
	肥育用子牛			715頭	56,187
	その他の肉用成牛			3,209頭	569,212
	その他の肉用子牛等			3,244頭	187,853
		(胎児)		3,101頭	166,518
	一 般 馬			38頭	8,460
	種 豚			986頭	24,980
	肉 豚			1,900頭	12,400
	包括共済計			41,926頭	4,779,229
	種 雄 牛			9頭	4,400
	種 雄 馬			3頭	1,000
	個別共済計			12頭	5,400
	合 計			41,938頭	4,784,629
果 樹	りんご	半相殺	短 縮	51,853a	1,545,555
			特定危険	105,573a	4,114,234
		樹園地	短 縮	8,997a	276,656
			特定危険	54,126a	1,807,688
		小 計		220,549a	7,744,133
	ぶどう	半相殺	一 般	5,811a	263,316
			短 縮	13,796a	707,471
		特定危険		2,520a	139,448
		災害収入		778a	50,601
		樹園地	短 縮	3,168a	96,207
			特定危険	2,910a	125,678
	小 計			28,983a	1,382,721
	なし	半相殺	短 縮	8,396a	417,471
			特定危険	11,146a	660,304
		樹園地	短 縮	102a	2,800
			特定危険	3,657a	180,482
		小 計		23,301a	1,261,057
	もも	半相殺	短 縮	7,286a	277,918
			特定危険	1,488a	61,887
		災害収入		796a	23,087
		樹園地	短 縮	1,389a	44,026
			特定危険	100a	3,250
		小 計		11,059a	410,168

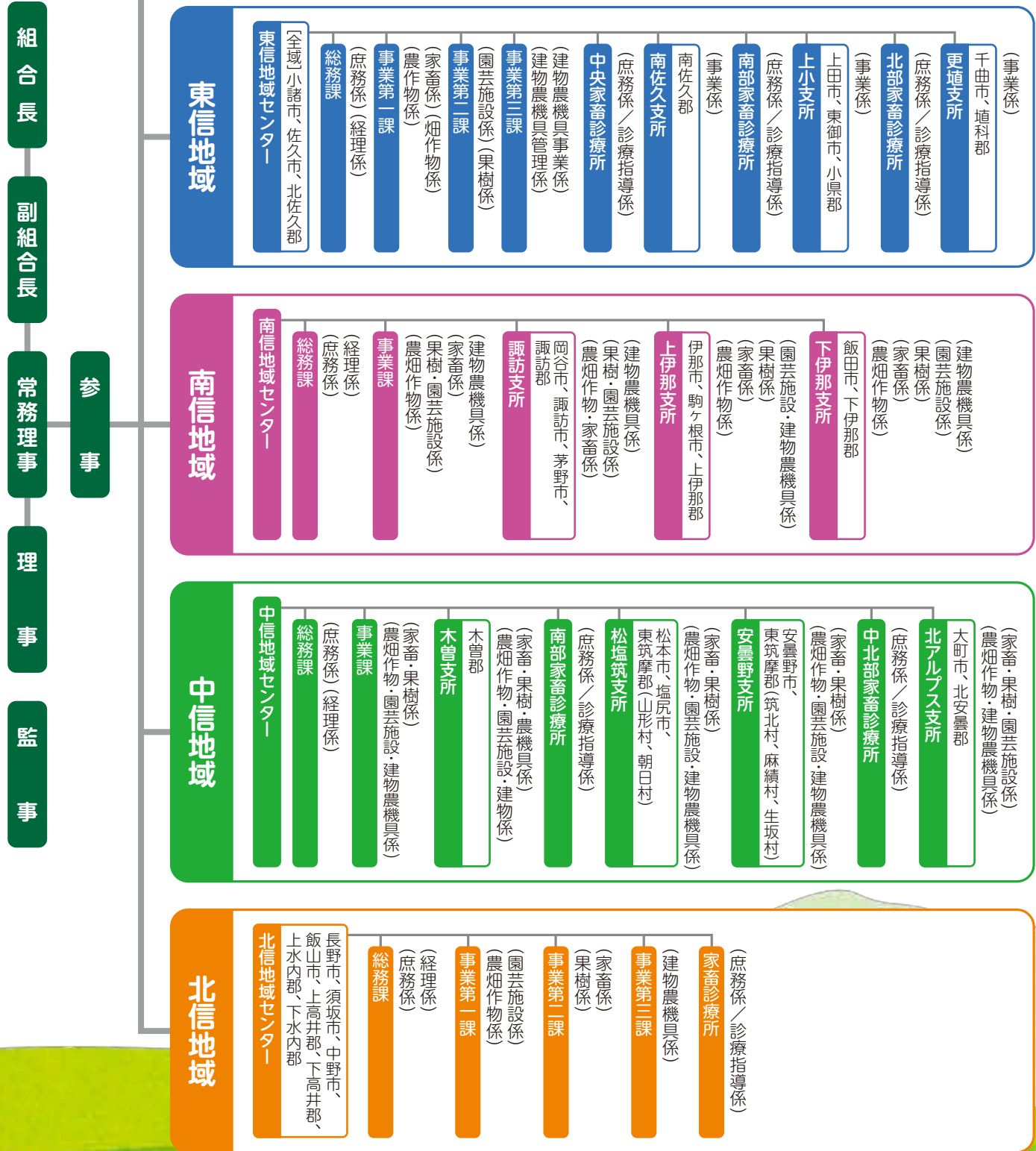
共 済 目 的 等				引 受 本年度予定	共済金額 (千円)	
果 樹 	かき	半相殺	短 縮	2,678a	32,245	
		小 計		2,678a	32,245	
	すもも	災害収入		2,840a	113,080	
		小 計		2,840a	113,080	
	合 計	半相殺	一 般	5,811a	263,316	
			短 縮	84,009a	2,980,660	
			特定危険	120,727a	4,975,873	
		災害収入		4,414a	186,768	
		樹園地	短 縮	13,656a	419,689	
			特定危険	60,793a	2,117,098	
計		289,410a	10,943,404			
畑作物 	ばれいしょ	全 相 殺		150a	2,193	
		一 筆		53,824a	185,958	
	大豆	全 相 殺		85,527a	314,872	
		小 計		139,351a	500,830	
	そば	全 相 殺		61,210a	314,872	
		蚕 繭		発芽期前		36箱
					1,270kg	
	発 芽 期				1箱	52
					30kg	
	小 計			37箱	2,102	
				1,300kg		
	初秋蚕繭			28箱	1,290	
				875kg		
	晩秋蚕繭			36箱	1,960	
				1,240kg		
	計			101箱	5,352	
			3,415kg			
合 計			—	609,708		
園芸施設 	ガラス室	Ⅱ類(鉄骨・アルミ)		159棟	565,540	
		Ⅰ類(木・竹)		1棟	180	
	プラス チック ハウス	Ⅱ類(パイプ)		15,374棟	4,261,843	
		Ⅲ類(鉄骨下)		323棟	493,399	
		Ⅳ類 (鉄骨中)	甲(軟)	249棟	504,379	
			乙(硬)	273棟	856,854	
		Ⅴ類(鉄骨上)		205棟	458,020	
		Ⅵ類(雨よけ)		1,175棟	379,491	
	合 計			17,759棟	7,519,706	
	総 計			—	47,981,488	

2. 任意共済事業の規模

共済目的等			引 受 本年度予定	共済金額(千円)
建 物 	建 物	総 合	17,785棟	149,365,240
		火 災	110,687棟	1,344,671,870
		小 計	128,472棟	1,494,037,110
農機具 	農機具損害		6,128台	12,600,000
	農機具更新		267台	399,150
合 計			—	1,507,036,260

組織機構図

※()内は係名を表す。



新・NOSAI長野



北アルプス支所

大町市大町1630-1
TEL.0261-22-8488



安曇野支所
中北部家畜診療所

安曇野市堀金鳥川2661-2
TEL.0263-72-5192



中信地域センター
松塩筑支所

松本市島内1666-777
中信地域センター
TEL.0263-40-2500
松塩筑支所
TEL.0263-40-2503



木曽支所
南部家畜診療所

木曽郡木曽町福島2420-2
TEL.0264-24-2367



諏訪支所

茅野市宮川4392-1
TEL.0266-73-3211



本所

長野市大字中御所字
岡田79-5
TEL.026-217-5800



北信地域センター

長野市豊野町豊野631
長野市豊野支所庁舎2階
TEL.026-219-2890



家畜診療所

中野市三好町1-4-28
TEL.0269-38-1113



更埴支所

千曲市上山田温泉4-15-1
千曲市役所上山田庁舎3階
TEL.026-214-3258



東信地域センター
中央家畜診療所

佐久市塩名田390
TEL.0267-58-2580



上小支所
北部家畜診療所

上田市芳田1817-2
TEL.0268-35-3333



南佐久支所
南部家畜診療所

南佐久郡南牧村海ノ口
1050-1
TEL.0267-96-2131

NOSAI長野からのお知らせ

NOSAI制度70周年 キャッチフレーズロゴ決定

全国農業共済協会は、今年12月にNOSAI制度70周年を迎えるにあたり、新たなキャッチフレーズロゴを決定しました。

■キャッチフレーズ

「備えの種」は、農業共済制度と収入保険制度及び被害の未然防止に取り組むリスクマネジメント支援活動を表現。「種をまこう」は、すべての農業者に対して両制度を普及していくNOSAI団体の決意を示しています。

■ロゴデザイン

ロゴデザインには、大地から芽吹く植物を配置し、配色の基調をすべて植物の特徴色である緑とし、双葉をNOSAIグリーン、大地を濃い目のオレンジで表現しました。



備えの種をまこう。

収入保険制度導入とNOSAI 制度見直しの最新情報

農林水産省が、インターネットで発信しています。

●農林水産省のホームページ

組織・政策↓経営局↓農業災害補償制度のページ↓収入保険制度の導入及び農業災害補償制度の見直しについて

●農林水産省フェイスブック

農水省・農業経営者net

●農林水産省メールマガジン

・農業担い手メールマガジン
・青年新規就農者ネットワーク

ぼくしん川柳 平成28年度年間賞



石田一郎選

【大賞】

野良へ行く麦藁帽子に詩がある

飯山市／高橋きみ

【準賞】

記念樹を見上げ私の幾山河

飯山市／小野しま

秋の農良つるべ落としに急かされる

長野市／酒井房子

【農民賞】

農暦日和がよくて種を蒔く

飯綱町／羽入田馨

【ユーモア賞】

断捨離と決めていたけど欲が出る

長野市／宮下ひで子

たくさんのご応募、ありがとうございました。

各共済のお知らせ

現在ご加入いただいている各共済事業の契約は、新組合にそのまま引き継がれます。詳しくは、最寄りのNOSAI各地域センター・支所へお問い合わせください。

水稻共済



平成29年度産水稻の作付面積の確認と共済掛金等の納入のお願い

「水稻共済細目書（農家控）」、「掛金納入通知書」を郵送もしくはNOSAI部長さんを通じてお配りしています。お手元に届きましたら、記載内容を十分ご確認ください。

なお、記載内容に誤りや変更等がありましたら、該当箇所をお近くの地域センターもしくは支所に連絡するか、同封いたしました書類に提出方法の記載がありますのでご確認ください、ご提出をお願いします。

記載内容に変更がない場合、お配りした「水稻共済細目書（農家控）」は各戸で大切に保管してください。

このほか、ご不明な点などご

家畜共済



家畜共済にご加入の皆さんは、家畜の事故が発生しましたら、直ちに獣医師に連絡し、診断を受けてください。廃用事故の場合は事故家畜の肉代等精算書が必要になります。スムーズな共済金支払を行うために、速やかに肉代等精算書を提出いただくようご協力をお願いします。

家畜の販売・購入、また子牛の出生など飼養家畜に異動があった時には、家畜共済係まで必ずお知らせください。牛の異動では家畜改良センターへの届出も忘れずに行ってください。

家畜共済では基本的に飼養されている牛・馬・豚、すべてのご加入をお願いしています。牛の胎児・子牛や種・肉豚の事故に対する補償も助めていますので、ぜひ加入のご検討をお願いします。

果樹共済



焼が可能です（使用ガイド付）。

1缶価格約1,013円（税込）の予定ですが、栽培面積等に応じて購入費の補助が受けられます。

ご希望の方は、お近くのNOSAIまでお申し込みください。（8月中旬まで）。

園芸施設共済



強風や大雪など自然災害によるハウスへの被害に遭われた場合、ただちにNOSAIに事故発生のご連絡をお願いします。

また、緊急に修繕等が必要な場合は、その旨を合わせてご連絡ください。この場合、NOSAIの損害評価時に部材等の実物で損傷箇所等を確認できない場合は、損害評価を行えず、共済金を支払えないことがありますので、修繕前の部材、張り替え前の被覆材等を損害評価終了まで廃棄しないようお願いいたします。

迅速かつ適正な損害評価と共済金の早期支払いに尽力してま

平成29年5月19日に発生した飯山市井出川山腹崩落により被災された皆様方、5月下旬から6月上旬の降雪により被災された皆様方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

29年度産果樹の被害申告について

本年産の被害申告を受け付けています。

被災した際は園地の被害状況を確認していただき、収穫時に加入方式に応じた減収（半相殺特定危険方式は2割超過、半相殺総合方式・樹園地特定危険方式は3割超過、樹園地総合方式は4割超過）が見込まれる場合は被害申告をお願いします。

なお、収穫開始後の被害申告は適正な損害評価ができないため共済金を支払うことができませんので、収穫前に申告をしていただくようご注意願います。

合併に伴う変更内容について

4月の合併に伴い、果樹共済では「りんご」「ぶどう」「なし」も「の4樹種に加え、一部の組合でのみ引き受けを実施していた「かき」「すもも」について県下全域での加入が可能となりました。

現在、「かき」は半相殺減収総合方式、「すもも」は災害収入方式での引き受けとなっています。来年度以降の引き受けとなりますが、加入条件・補償内容などについてはお近くの地域センターもしくは支所にお問い合わせください。

また、近年では暴風雨、降雪、凍霜害以外にも、連続した降雨

いりますので、よろしく願います。

建物共済



建物共済では、落雷による家電製品などへの被害が増加しています。落雷による建物設備、テレビ、電話などの電化製品などに故障が発生した場合は早めにご連絡ください。ご契約の内容により補償の対象とならない場合があります。

農機具共済



農機具共済では、作業中の事故が多発しています。ちょっとした不注意が横転など大きな事故につながります。作業前に危険箇所を確認し、無理な操作はせず事故を未然に防ぎましょう。事故が発生した場合には早めにご連絡ください。被害金額が少ない場合には、共済金が支払われない場合があります。



心強い農業共済を期待！

松本市
たなか たけひこ
田中 武彦さん(57歳)

農家にとって、農業共済はそれほど必要であるのか？漠然とそんな疑問を感じていた中、大きな降雪災害に見舞われました。

すべての果実が被害に遭い、ひどく落胆しましたが、農業共済に加入していたことにより、農業収入は補填され、必要以上に心配することなく心の安定が保たれたことが何よりで、農業共済のありがたさを実感しました。

今回より4地区が合併し「NOSAI長野」に変わり、より広い地域から多くの組合員さんで支え合うことができるようになり、大きな災害にもより良く対応していく心強い農業共済となることを期待します。

最後に、私が損害評価員を務めて気になったことは、同じような被害を受けたのに、損害評価員によって格差を感じるのとの声でした。組織が大きくなる中、組合員さんの不満がつのらぬよう、一層の指導をお願いしたいです。



農業技術を持つ職員が増えることを期待！

大桑村
せわき すずむ
瀬脇 進さん(68歳)

私は中山間地域に住んでいます。地域の農業は畜産と高原野菜が主ですが、農業後継者不足が深刻で危惧しています。

さらに農作物や畜産の技術指導員も身近にいないので、新しい団体となったNOSAI長野には少しでも農業被害が減るよう災害未然防止のために、さまざまな農業専門技術を持った学生を採用し、若手職員には研修等で農業技術を身につけさせ、農家のリスクを減らせる優れた人材を増やしてほしいです。

また、県内の組合が合併したことで職員配置が流動的になるかもしれませんが、地域の実情に即した適材適所を希望したいです。



農業共済は、お守りのひとつ！

佐久市
い で けんいち
井出 賢一さん(70歳)

我が家では、ビニールハウスで水稻育苗とトマト栽培を行っています。

水稻は苗を受託して生育管理をしており、トマトは毛苗仮植してから収穫までを行っています。本年は、ものすごい強い風のためビニールハウスが耐えられるのか大変不安でした。昨年12月と今年2月に強風にあおられ、天井ビニールが破れてしまったのです。被害が出たときの農業共済の職員の迅速な対応で、たいへんありがたかったです。

農業共済にはいろいろな種類がありますが、自分に必要な共済は職員の皆様と相談し、加入しています。共済はこれからも突然やってくる災害のお守りのひとつとして加入していきたいと思っています。これからも組合員のためにご尽力していただき、良い農業共済制度となっていくよう願っております。



緑の下の方持ちにエール！

佐久穂町
こ す だ しげよし
小須田 重良さん(65歳)

私の中では、NOSAIを頼りにする経営ではうまくはないと思っています。しかし、そうは言っても天候が読めない最近の状況の中では万が一の被害に備えてNOSAI制度は必要不可欠になっています。

農業の現状をみれば、従事者の高齢化や後継者不足等で農業の生産量が減退している中での組織の合理化、効率化は良いと思います。が、組織が新しく大きくなったとはいえ、被害に対しては今までとより迅速に対応してもらいたいと思っています。

また、園芸施設共済に関しては、最近の補償は充実してきていると思いますが、農業全般の災害補償内容の充実向上を希望します。厳しい農業情勢下ではありますが、農業振興を陰で支えるNOSAIに対し期待とエールを送ります。

これからのNOSAIに期待すること

組合員からのメッセージ



農家に喜ばれる組織を期待！

長野市
しもじょう いたる
下条 至さん(78歳)

組合の合併は事業の合理化、迅速な損害評価が可能になるのでたいへん意義のあることだと思っています。

どこの農家でも問題となっている高齢化や後継者不足が、損害評価員でも目立ちます。負担軽減のために、評価方法の合理化を検討いただきたい。

損害評価で地域を回っていると、鳥除けのネットや獣害対策の電気柵などが不十分な圃場も散見されます。損害防止は、農家が努力しなければなりません。鳥獣害対策に役立つ情報や資材の提供などを行っていただくとありがたいです。

組織が拡大しても組合員への対応が疎かにならないよう努めていただきたい。どの地域でも公平なサービスを受けられる、農家に喜ばれる組織となることを期待します。



ためになる情報発信を！

中野市
たかはし しんいちろう
高橋 真一郎さん(47歳)

果樹共済に加入しています。NOSAIの方には加入の際、園地を確認いただきですが、自分で栽培状況を把握することにも役立っています。地域農家の元に来て顔を合わせて話をするといいサービスは続けてもらいたい。

共済は万が一の災害に遭っても、マイナスからスタートするのを防ぐ重要な存在だと思います。合併により事業運営が安定したと思いますので、これまでに以上に農業経営をしっかり支える組織となることを期待します。

また、広報などで損害防止に取り組む農家の工夫を多く紹介してほしいです。地区ではクラスやハクビシンの被害が多く発生しています。農薬や薬剤で被害を防ぐ方法など、さまざまな地域の工夫は参考になると思います。農家のためになる情報発信をお願いします。



気象変化への柔軟な対応を！

箕輪町
た か だ ともゆき
高田 知行さん(48歳)

出身は千葉県です。毎年、中央アルプス駒ヶ岳の千畳敷を訪れていました。そのうちに信州に魅了され、5年ほど前にサラリーマンを辞めて箕輪町に引っ越してきました。農業は未経験でしたが関係機関をはじめ多くの方にご助力をいただき、現在に至ります。今後は畑を通じて楽しいことを発信していきたいです。[Grapple TAKADAI]という名前でFacebookをやっているのも、興味のある方はぜひ一度のぞいてみてください。

NOSAIは災害時に助けていただけたことが心強いです。最近、異常気象が全国各地で毎年のように報じられますが、その時の気象の変化に合わせて、柔軟な対応をしていただけだと思います。



農家の声を大切に！

茅野市
もろすみ としゆき
両角 敏幸さん(66歳)

現在、兼業農家として水稻とソバを作付しています。苦勞することもあります。が、好きな農業なので体力が続く限りやっていきたいです。この地元の田園風景を次の世代まで何とか守っていききたいという思いを持ちながら取り組んでいます。今後はバセリとか新しい作物にもチャレンジしていく予定です。

私も農協で働いている時に合併を経験しました。大変なこともあるかと思いますが、これまでと変わらず現場・農家の声を大事にして地元密着の小回りの利くサービスをしていくしてほしいです。そして、農家を取り巻く環境が厳しくなる中で、市町村・農協等の関係機関と協力しながら農家を守る組織としてさらなる発展を期待しております。

新任職員の紹介

平成29年4月1日付けで採用となりました。どうぞ、よろしくお願いします！

本所

総務部
経理課経理係
こんどう りほ
近藤 里穂



経理を担当させていただいております。長崎県出身で、長野県でまだ片手で数えられるほどの年数しか暮らしていません。仕事や生活を含め、勉強の日々ですが、先輩方から学ばせていただきたいと考えています。

南信地域センター

諏訪支所
農畑作物・家畜係
ももせひとみ
百瀬 瞳



農畑作物・家畜係を担当させていただいております。安曇野市堀金出身です。高校、大学と農業について学んできたのでその知識を最大限に活かし、一生懸命頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

中信地域センター

松塩筑支所
家畜・果樹係
よしかわ ちあき
芳川 智明



果樹共済を担当させていただいております。まだ慣れないことばかりですが、農業についての知識を身に付け、これから少しでも組合員の皆さんのお力になれるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

中信地域センター

松塩筑支所
家畜・果樹係
たのぐち まり
田野口 真理



果樹共済を担当させていただいております。各農家さんや果樹園を回る中で、作物ができるまでにいろんな工程や苦労、工夫があることを知り、食べ物に対する感謝がより深まりました。これからよろしくお願いします。

中信地域センター

安曇野支所
家畜・果樹係
やまぐち たくや
山口 拓哉



家畜・果樹係を担当させていただいております。毎日が勉強の日々ですが、農家の皆さんのお役に立てるよう自分ができることを精一杯発揮し、早く先輩達を追い越せるようになりたいです。よろしくお願いします。

北信地域センター

家畜診療所
診療指導係
(兼)庶務係
にのみや うたこ
二宮 歌子



獣医師としてまだまだ未熟な私ですが、畜産農家の皆さまの役に立てようがんばっていききたいと思っております。どうかよろしくお願いします。

退職職員

退職となった職員を紹介します。
お世話になりました。

平成29年3月31日付

■旧長野県農業共済組合連合会

久保田 昌之(総務課調査役)

松沢 裕一(事業第一課調査役)

■旧南信農業共済組合

高井 学(参事)

向山 達男(総務課長)

小嶋 和明(下伊那支所長)

福島 保典(下伊那支所係長)

■旧中信農業共済組合

松岡 俊明(北アルプス支所長)

中田 隆夫(事業課第1係長)

平成29年5月31日付

藤牧 奈穂子(本所総務課主任)

編集後記

組合広報紙「NOSA-ながの」創刊号を発行しました。年4回発行しますので、ご愛読よろしくお願い致します。

NOSA-イメージキャラクターの「フーサイくん」が「ゆるキャラグランプリ2017/企業・その他ゆるキャラ部門」にエントリー(No.187)しました。8月1日からの投票にご協力をお願いします。

(K)



<http://www.yurugp.jp/vote/detail.php?id=00003475>